

## 武漢事務所週刊ニュース (2016. 5. 21-2016. 5. 27)

2016年5月21日

### ノーベル賞の受賞者が未来城のトップブレイン

昨日、国家戦略新興産業科技革新発展フォーラムが武漢未来科技城で行われた。ノーベル賞物理学賞の受賞者ジョージ・スムート及び国家の“千人計画”に携わる専門家が出席した。ジョージ・スムートは未来科技城のテクノポリス科学顧問として招かれ、光谷のトップクラスのシンクタンクとなった。

ジョージ・スムートは世界的に有名な天体物理学者で“宇宙のマイクロ波背景放射線のゴシック形式と各異向性”を発見し、2006年ノーベル物理学賞を受賞した。

2016年5月25日

### 中部国際生産能力協力フォーラム及び企業ドッキング商談会が来月始まる

中国中部国際生産能力協力フォーラム及び企業ドッキング商談会が6月5日～6日に武漢で行われる。現在はロシア、ブラジル、アルゼンチン、インド、ハンガリー、カザフスタン、イラン、コンゴ、モザンビークなど、57ヶ国の国際産能協力重点国家から、400名余りの代表が参加する予定となっている。

2016年5月25日

### アフリカ12ヶ国の代表団が農業のチャンスを探求めて武漢へ

昨日、漢口シャングリラーが中国とアフリカの市場となった。エジプト、スーダン、チュニス、ガーナなどアフリカ12ヶ国の農業行政代表団が武漢を訪れ、我が省の企業約20社と商談を行い、農業協力項目は130個余りに昇った。

武漢には、中国初の「中-アフリカ」多国間工商協力に関する地方的な機構である「聯合工商会連絡弁公室」があり、そのことが今回の商談へと繋がった。